

白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話 0261-82-3100
 HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/himesabo/>

優れた取組を行った2名の優良技術者が表彰されました

2月4日（火）に、長野県庁講堂において、「令和元年度 長野県優良技術者表彰」の表彰式が行われ、当事務所発注工事においても、工事に対する取組や工事成績が特に優れていると評価を受けた2名の技術者が表彰されました。

表彰されました、三林 史生 様（㈱ 鷺澤建設）、藤巻 肇 様（㈱ 今井工務店）は、小谷村の砂防工事、地すべり対策工事を担当され、地域の地形・地質・環境を十分に把握した上で、品質管理、出来型管理及び工程管理に確実性、効率性と工夫を持って取り組まれたことが、高い評価を得たのではないかと思います。

当事務所としましても、このような優れた技術者の取組、工夫及び提案を生かして、地域が安全で安心して生活できる土砂災害対策を推進してまいります。



長谷川建設部長あいさつ



太田副知事から受賞者代表へ表彰状が手渡されました



数回に分かれて記念撮影を行いました

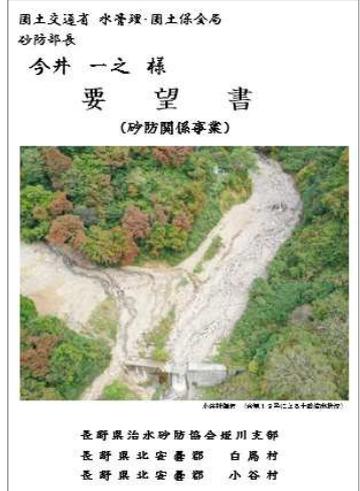


国土交通省砂防部との意見交換会を行いました

長野県治水砂防協会姫川支部は、1月24日（金）に、国土交通省（東京都）において、同省砂防部との意見交換会を行いました。

この意見交換会は、姫川流域の砂防事業の促進に関する要望や管内の実情等を、国の施策立案に携わる職員の方々に伝えるとともに、国の予算等に係る最新の情報や全国における取組事例などを収集するために、毎年、行っているものです。

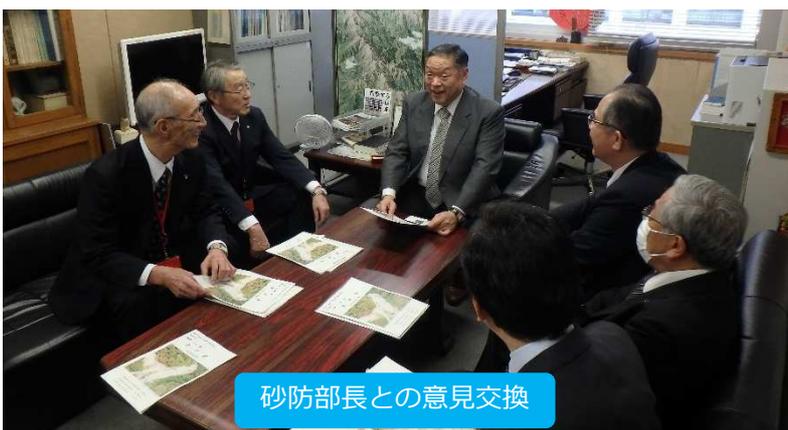
支部長の下川白馬村長、副支部長の中村小谷村長をはじめ、両村議長など11名の役員と職員が出席し、国土交通省水管理・国土保全局砂防部の今井部長に、管内における砂防事業の進捗状況や昨年10月の令和元年東日本台風（台風第19号）による被害・対策状況、地域防災力の強化に向けた住民の自主的な活動への支援、砂防カードの活用等による情報発信などの取組を説明するとともに、地域住民が安全で安心して暮らせる生活基盤の整備に向け、管内における砂防事業の一層の促進を求める要望書を提出しました。



左から、藤本県砂防課長、北澤白馬村議会議員、下川白馬村長、今井砂防部長、中村小谷村長、宮澤小谷村議会議員、村山県姫川砂防事務所長

今井部長からは、令和元年東日本台風（台風第19号）による全国的な土砂災害の概要について説明がありました。その中では、今回の台風は、台風に伴う土砂災害としては、昭和57年の統計開始以来、過去最大の発生件数（962件）を記録したこと、現在、国・都道府県において、緊急的な砂防工事が行われており、長野県は、都道府県の中で最多となる災害関連緊急事業が採択されていること、などととも、着実な砂防堰堤の整備により、流域への甚大な被害を軽減できたと推定されること、など具体的な情報提供がありました。また、松本砂防事務所勤務の経験から、管内の実情に大変明るく、同支部が作成している砂防カードについて、関心とともに情報発信への協力の意向が示されました。

懇談した全員から、砂防事業の必要性や有効性、さらなる推進に向けた期待や決意など、熱のこもった活発な意見交換が行われ、有意義な意見交換会となりました。



小谷村 千国地区で地区防災マップを作成しました

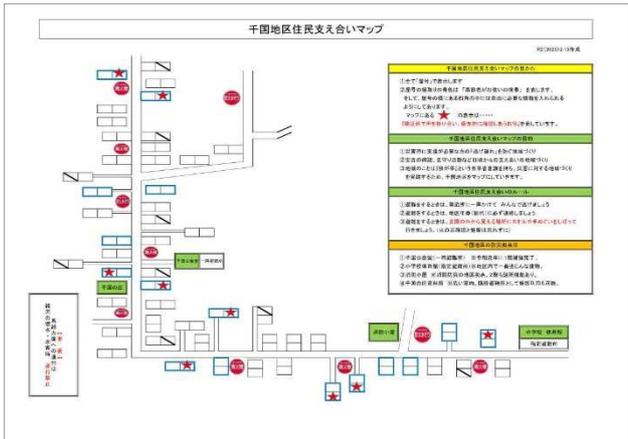
長野県では、昨年10月の令和元年東日本台風（台風第19号）により、多くの水害、土砂災害が発生しました。災害の際、行政が作成した防災マップでは、なかなか危機感が伝わらず、避難に繋がらないことが課題になっています。そこで、住民主導で、危険箇所や避難所を抽出・選定し、『地区防災マップ』を作成する取組に支援を行っています。今年度は、小谷村の千国地区で、2回の住民懇談会を開催し、地区防災マップ及び住民支え合いマップを作成しました。今回作成した2つのマップを利用して、6月7日に防災訓練を行う予定です。



第1回住民懇談会 (R1.11.2)



千国地区 地区防災マップ



千国地区 住民支え合いマップ

長野県主催のスキルアップセミナーで優秀賞を受賞しました

砂防堰堤の工事では基礎地盤の地質が悪いことが時々あり、その際には地盤の改良工事を実施します。

今回、長野県主催のスキルアップセミナーにおいて、「(砂)ガン沢の地盤改良工法について」というタイトルで発表したところ、採用した地盤改良工法（エルニード工法）の砂防工事における優れた施工性や安全性といった点が高く評価され、優秀賞を受賞することができました。この工法は建築の現場では目にする機会が多いものの、砂防工事の現場では現状ほとんど採用されていません。(砂)ガン沢の事例を参考に他の工事でも採用されれば、砂防工事の施工性及び安全性がさらに向上していくかと思えます。

今後も、砂防工事の安全性の向上に取り組んでいきたいと思えます。



授賞式の様子



砂防カード「第3弾(平成30年度版)」の配布好調！残り少なく！

長野県治水砂防協会姫川支部が発行している「砂防カード」の配布が好調です。現在は、平成30年9月1日に配布を開始した『第3弾(平成30年度版)』を、「砂防カードラリー」と銘打って、北アルプス地域内の5市町村の「道の駅」で1種類ずつお配りしています。当初は、1,500枚ずつ作成しましたが、お陰様をもちまして多くの方からご好評をいただき、この号を作成している時点で、最も少ないカードは、残り300枚を下回る状況になってきました。

増刷予定はなく、在庫がなくなり次第、順次、配布を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

なお、5種類すべてを集めて、姫川砂防事務所にお持ちいただいた方には、シークレットカードと踏破証を差し上げています。

(※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、当面の間、姫川砂防事務所での砂防カード(シークレットカード・踏破証)の配布を一時休止しています。再開時期はホームページでご確認ください。なお、郵送での発行は受け付けています。)

是非、四季折々の魅力がいっぱいの北アルプス地域に足をお運びいただき、「砂防カード」を手にしてください。

(※ 詳しくは、姫川砂防事務所ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/himesabo/sabocard.html> をご覧ください。)



令和2年4月1日付人事異動(転出者)

職名	氏名	転出先
所長	村山 幸男	定年退職
総務課課長	北原 雅勇	飯田建設事務所 リニア整備推進事務所
主事	良川 健太	危機管理部 危機管理防災課
砂防課課長補佐兼砂防第一係長	竹村 正	長野建設事務所 維持管理課
主査	東海林 和幸	長野建設事務所 計画調査課
技師	黒岩 楠央	建設部 技術管理室
技師	渡邊 輝嗣	建設部 砂防課

大変お世話になり、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。